

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【公開番号】特開 2020-137772 (P2020-137772A)
 【公開日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-036
 【出願番号】特願 2019-35374 (P2019-35374)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 8 月 17 日 (2021.8.17)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技領域が区画形成される遊技盤を備える遊技機であって、
前記遊技盤は、複数の発光体の実装される表面と、発光体の実装されない裏面と、を有する基板を備え、

前記基板は、前記表面の略全域に形成される絶縁被膜と、前記表面に形成される表面側配線パターンと、前記裏面に形成される裏面側配線パターンと、前記表面側配線パターンと電氣的に接続される表面側ランドと前記裏面側配線パターンと電氣的に接続される裏面側ランドとを有するスルーホールと、を有し、

前記絶縁被膜は、白色であり、
前記表面側ランドは、少なくとも外周縁部が前記絶縁被膜で覆われ、
前記スルーホールは、前記表面の開口部と前記裏面の開口部との少なくとも一方が開放され、

所定の調節手段が操作された場合には、前記基板に実装される前記複数の発光体の輝度を変更可能とされる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

近年、盤面ランプ等の発光手段が設けられている遊技盤を備える遊技機が提案されている（例えば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】特開 2 0 1 7 - 2 1 7 3 8 1 号公報（段落 [0 0 2 3]、及び図 5）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

ところで、発光手段が実装される基板の表面は、発光手段が発した光が効率良く反射することができることが求められている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、基板の表面の反射率を均一とすることに寄与することが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上記した目的を達成するために、本発明においては、

遊技領域が区画形成される遊技盤を備える遊技機であって、

前記遊技盤は、複数の発光体の実装される表面と、発光体の実装されない裏面と、を有する基板を備え、

前記基板は、前記表面の略全域に形成される絶縁被膜と、前記表面に形成される表面側配線パターンと、前記裏面に形成される裏面側配線パターンと、前記表面側配線パターンと電氣的に接続される表面側ランドと前記裏面側配線パターンと電氣的に接続される裏面側ランドとを有するスルーホールと、を有し、

前記絶縁被膜は、白色であり、

前記表面側ランドは、少なくとも外周縁部が前記絶縁被膜で覆われ、

前記スルーホールは、前記表面の開口部と前記裏面の開口部との少なくとも一方が開放され、

所定の調節手段が操作された場合には、前記基板に実装される前記複数の発光体の輝度を変更可能とされる、

ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

このように、本発明によれば、基板の表面の反射率を均一とすることに寄与することが可能な遊技機を提供することができる。